

2023年度 第11回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 承認日

2024年2月5日(月)

2 開催方法

WEB会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、常盤委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、柳澤委員

オブザーバー参加: 田口学長補佐兼地域産学連携センター所長、延原情報センター所長

4 事務局

福田副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長、山口企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1) センター組織等の見直しについて

資料に基づき、伊藤副学長から説明され、案のとおり承認された。

(2) センター組織の見直し等に伴う法人規則等の改正について

資料に基づき、高柳調整幹から説明され、案のとおり承認された。

○ 現在事務局より依頼を受けている委員会委員の指名について、研究科長が指名を行うこととされているものがあるが、今後はセンター長からの指名ということになるのか。

⇒ 混乱が生じないように改めて整理する。

○ 博士前期・後期課程の定員増に伴い、大学院生の研究室を増やす必要がある。どのように確保するか検討いただきたい。

⇒ 状況は把握しており、今後検討を行う。

(3) 埼玉県立大学学部生の大学院授業科目の履修に関する規程の制定について

資料に基づき、金村研究科長から説明され、案のとおり承認された。

(4)次期カリキュラム改訂について

資料に基づき、東高等教育開発センター長から説明され、案のとおり進行することで承認された。

- 大学発のベンチャー企業も増えていることから、本学もアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を積極的に取り入れることが重要であると考えている。
 - ⇒ カリキュラム改訂の内容はまだ白紙状態のため、今後検討を行い、全学的に導入できるものであれば取り入れていくこととしたい。
 - ⇒ 先進的に取り組んでいる近隣大学等と情報交換しながら進めるのが良い。

- カリキュラム改訂は定期的に行うものなのか。
 - ⇒ 定期的にというわけではないが、カリキュラムが完成年度を迎えると改善点が見えるようになり、社会情勢も変化していくので、適宜改訂を行うこととしている。

(5)令和6事業年度 業務運営に関する計画(案)について

資料に基づき、福田副局長から説明され、案のとおり承認された。

【報告事項】

(1)自己点検・評価の実施及び認証評価の受審について

資料に基づき、伊藤副学長から報告された。

- どのような内容が評価されるのかが資料だけでは分かりづらい。記載する内容については、検討委員会で具体化して決めていくということで良いか。
 - ⇒ そのとおりである。

- 大学教育質保証・評価センターは過去の評価結果を公表しているため、それを参考にしながら検討を進めるのが良い。ただし、本学は第4期認証評価を受審するため、現在までに実施されている第3期認証評価の結果を直接参考にはできない点は留意が必要である。
 - なお、3月18日(月)3限にFD研修として、同センターの方を招いて認証評価に係る研修を行う予定である。ぜひ参加いただきたい。

- 内実を伴うような内部質保証の仕組みを構築していただきたい。

(2)研究開発センターシンポジウム 2023 について

資料に基づき、濱口研究開発センター長から報告された。